



# おうち ワークシート

あだちく れきし むかし  
足立区の歴史や昔の暮らしのことを、どのくらい知っているかな？

きょうどはくぶつかん  
郷土博物館のホームページを見ながら、クイズに答えてみよう！

そのまえに  
いま あだちく しょうかい  
今の足立区をご紹介します！

23区で3番目

足立区民の人数  
692,795  
人

※2020年8月1日現在

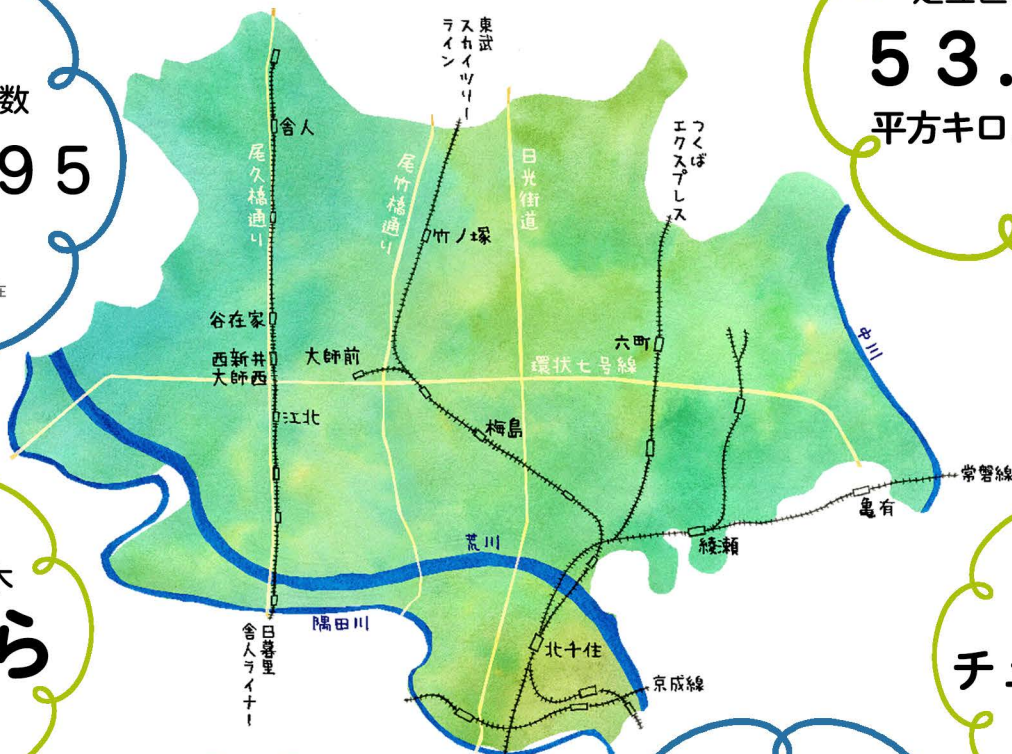
足立区の広さ  
53.25  
平方キロメートル

足立区の木  
さくら

足立区の花  
チューリップ

足立区之歌  
わがまち  
足立

足立区は  
東西南北  
川に  
かこまれている



# クイズ!むかしのくらし-その1-

にっこうかいどう  
日光街道ぞいの宿場だった\_\_\_\_\_には、  
しょうか  
商家がたくさんあった。

日光街道は、江戸時代につくられた、江戸と日光をむすぶ、長い長い通りのこと。

のうか す ひろ  
農家の住まいには広い\_\_\_\_\_があり、  
さぎょうば べんり つか  
作業場として便利に使っていた。

そこには板ばりの「勝手」という場所があって、ここでご飯をたべていたみたい。



むかし あだちく すいでん おお  
昔の足立区は水田が多く、  
ねん  
\_\_\_\_\_年ごろまでは  
とうきょう こめ ゆうめい  
東京の米どころとして有名だった。

だんだん家や道路がふえて、田んぼや畑がへっていった。

せまい土地を上手に使うために、だんだん米作りから野菜作りにかえていったらしい。

いま せんじゅかわらちょう せんじゅなちちょう  
今の千住河原町や千住仲町のあたりには  
とんや かずおお た せんじゅ  
問屋が数多く立ちならび、「千住の\_\_\_\_\_」と  
おお しょうにん  
よばれて多くの商人たちでにぎわった。

足立区は都心に近いので、新せんな野菜や産業の材料や製品を運ぶのに便利!

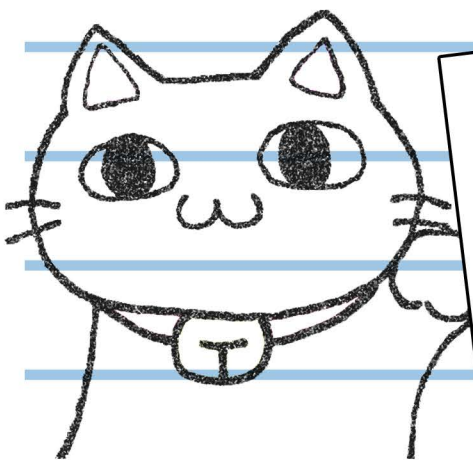
# クイズ!むかしのくらし-その2-

<sup>とうじ</sup>冬至には、                    を<sup>た</sup>食べて、  
<sup>びょうき</sup>病気にならないようにいのる。

平和でおだやかなくらしを願って、  
一年を通して様々な祭りが行われていた。

「じんがんなわ」でかざられる  
<sup>おお</sup>大きな<sup>ざいりょう</sup>へビの材料は、                    

へビの力で地域のわざわいを取りのぞいて、  
農作物がたくさん収穫できるようにいのる伝統行事。



<sup>はなはたおとりじんじゃ</sup>花畑大鷲神社や、<sup>しかはまちく</sup>鹿浜地区で  
<sup>おこな</sup>行われる<sup>ししまい</sup>獅子舞では、  
                    <sup>しし</sup>びきの獅子が<sup>ま</sup>舞いおどる。

足立では、獅子舞やお祭りを

にぎやかにする「祭りばやし」の活動がさかんらしい!